

学校飼育動物 のかいかた (モルモット編)



長野県動物愛護センター
ハローアニマル

〒384-0041小諸市大字菱平字前新田2725

TEL. 0267(24)5071

FAX. 0267(26)3282

モルモットのからだ

モルモットは、5～7年生きている。 毎日よく観察して、正しい様子を覚えておこう。

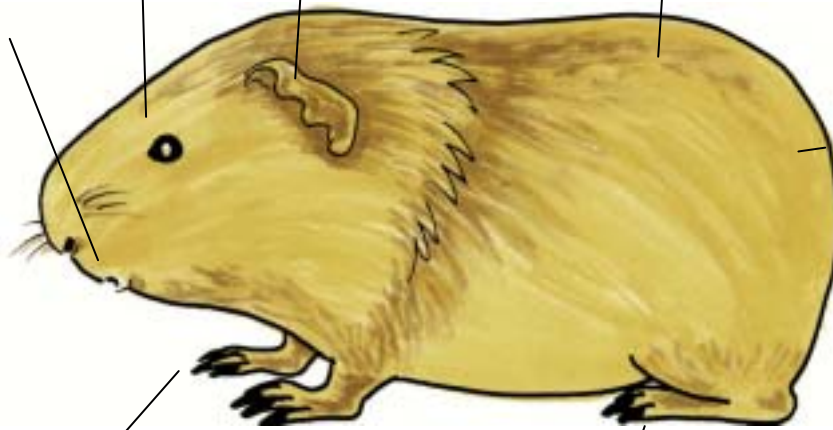


め
視力はあまりよくないけど、頭の両側についていて後ろも見る事ができる。

みみ
ピラピラした形で、小さな音もよく聞こえる。

け
春と秋に抜けかわる。

は
一生のびつづける。歯の数は、全部で20本。



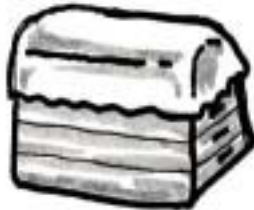
お (しっぽ)
はない。

おしりの穴の近くに臭いを出すところがあり、こすりつけて臭いをつける。



まえあし
指は4本、ものをつかむことは苦手。

うしろあし
指は3本、飛び跳ねることは苦手。



オスとメスの見分け方

モルモットは、子供の時にオスとメスを見分けるのはとても難しいので、専門家に見てもらおう。
オスは産まれてから70日でおとなになり、こう丸がわかるようになる。
指で生殖器(オチンチン)の両側を押し開くようにして見る。
オスはつつ状で、メスはY字に割れている。



オス



メス

なきごえ

モルモットは、声を出して仲間とコミュニケーションをとる。
うれしいとき、こわいときなど声がちがうので観察してみよう。



モルモットのたべもの

おもに、お腹の調子を整える **ほしくさ・専用ペレット** を
おかずに、新鮮な **やさい・くさ・くだもの** などをバランスよくあげよう。

モルモット専用ペレット
ビタミンCの入ったモルモット専用
ペレットが便利。硬さもあるから歯
のびすぎをふせげる。ペレット
は1日朝夕2回、1匹あたり20~
30gを与えよう。



水 毎日とり
かえよう。
入れものをく
わえてひっきり
かえすことが
あるので、ポト
ルタイプのほう
がよい。

やさい・くだもの
水分の少ない緑黄色野菜を中心にあげよう。
レタス、キャベツ、ハクサイなどは与えすぎに注
意しよう。



くさ(野草)
タンポポ、クロー
バー、ハコベ、オ
オバコ、レンゲ、
ナズナ、ぺんぺん
草などを少量あげ
よう。
農薬や、犬猫の
ふんがついてい
ない物を選ぼう。



— 食べ物を吹き
込むことがあ
るので、毎日
よく洗おう。

ビタミンC

モルモットは、体の中でビタミンCをつくること
ができないから、必ず食事と与えよう。

うんちをたべる

うんちには、硬いうんちと軟らかいうんちがある。
軟らかいうんちはもう腸便といってタンパク質、ビタミンが
たくさん。モルモットはおしりに口をつけて直接盲腸便を食
べる(食ふん)。ふだんあまり見ることはできないけれど、
必要な栄養をとるために食ふんはとんでもだいじ。

あげてはいけないもの

ジャガイモの芽や皮、
ネギ、玉ねぎ、ニラ
、ニンニク、アサガオ、
スイセン、わらび、
毒の野草、
人間の食べている
おかしなど



おとなになっても
小さい時に食べた
ことのある物しか
食べないので、
小さい頃から
いろいろな味
にならそう。



モルモットのおうち

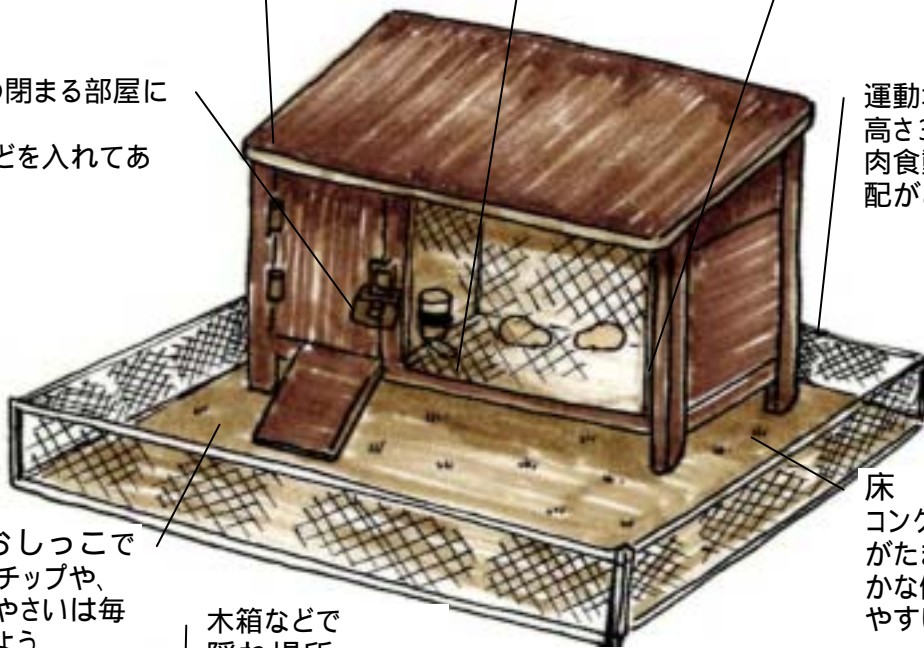
数を増やさないようにするなら
オスとメスを分けよう。

食べ物と水
新鮮なものをあげよう。
食べ残しはかたづけよう。

かじり木
などを用意してあげよう。

夜は、カギの閉まる部屋に
入れよう。
木材チップなどを入れてあげよう。

運動場のさく
高さ30cmあれば大丈夫。
肉食動物におそわれる心配があれば、天井も必要。



うんち、おしっこで
汚れた木材チップや、
食べ残しのやさいは毎日
かたづけよう。

木箱などで
隠れ場所
を作ってあげよう。

床
コンクリートの場合は、水
がたまらないようにゆるやかな傾斜があると掃除しやすい。

モルモットは
ケージで飼うことができる。
中には木材チップ
や干し草を入れてあげよう。



水
新鮮なものをいつでも飲めるようにしよう。
こぼさないくふうをしよう。
(ボトルタイプがよい)

モルモットは、高い温度やしめりけが多いのは苦手。また、寒さにも弱いからできれば室内で飼ってあげよう。理想的なのは、温度18～24℃。

野外で飼うなら、夏は陽よけを作り風通しを良く、冬はすきま風を防いでワラなどをたくさん入れてあげよう。

また、せまい所にたくさん飼うと、ケンカしてケガをしたり病気になりやすくなるよ。飼育場所がせまい場合は、木箱などの隠れ場所をたくさん用意してあげよう。

モルモットのあかちゃん

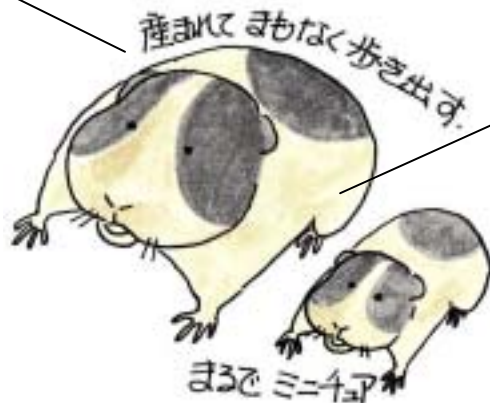
おとなのオスとメスを一緒にしておくとおかちゃんがうまれる。(オスは生まれてから70日でおとなになる) 増やしたくない場合は、必ずオスとメスを分けて飼おう。

妊娠(あかちゃんがおなかの中にいる)期間は、60~70日間。妊娠中はカルシウムやビタミンの多い食事をあげよう。(チーズ、ゆで卵、にぼしなど)



メスは妊娠すると乾草などを集めて巣作りを始める。暗くて静かなあかちゃんをうむへや(木箱など)を用意してあげよう。掃除はしないようにしましょう。

モルモットは1回に1~5匹のあかちゃんをうむ。うまれたばかりのあかちゃんは、親そっくりで毛もはえている。生まれて1時間くらいで歩き出し、やわらかい食べ物なら食べるようになる。でも、すぐにはのぞき込んだり、触ったりしないようにしましょう。



モルモットのおっぱいは2つしかない。うまれてから10日くらいまではお乳で育つ。1ヶ月すぎたら少しずつさわっても大丈夫。

モルモットを移動するときは布の袋などに入れると安全。



モルモットのだきかた

片方の手をおしりにそえ、もう片方の手で前足のつけ根のところを支え、下からそとすくい上げるように抱き上げよう。足がぶらぶらすると怖がるので、自分の体にしっかりつけて安心させてあげよう。

